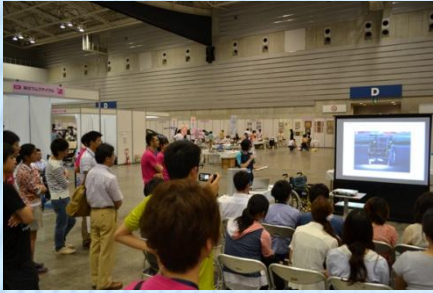


平成24年度 企業間等連携支援事業（Aタイプ） 山形県立米沢工業高等学校（山形県）



「地域連携ものづくり活性化推進事業」

【事業目的】

自発的な地域産業の活性化を図るために、産学官連携による異業種間交流ものづくり検討会を立ち上げ、それぞれが有する知識やノウハウを組み合わせ、地元が存在する資源を活用した新商品開発の促進や展示会への商品（試作品）の出展などを行い、地域社会の発展に寄与する。

【事業実施状況・成果】

(1) 展示会

「第5回たくみ21展示・発表・即売会」

日にち：平成24年6月23日～24日

場 所：かながわ県民センター

内容）・聞き取り調査（アンケート調査）
・車椅子照明パンフレット配布等

(2) 展示会

「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド`2012」

日にち：平成24年7月27日～28日

場 所：パンフィコ横浜

内容）・聞き取り調査（アンケート調査）
・車椅子照明パンフレット配布等

(3) 視察

「第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会

ねんりんピック宮城・仙台2012 健康福祉機器展」

日にち：平成24年10月15日

場 所：夢メッセみやぎ

(4) 「産学官連携による異業種間交流ものづくり検討会」

日にち：平成25年1月25日

場 所：山形県立米沢工業高等学校 大会議室

講話）大学における連携事業の現状と高大連携の在り方について
協議）高校と大学、企業等との連携事業推進のためのシステムづくりと、ものづくりを通じた人材育成の視点から意見交換を実施。
連携事業の課題提起、連携事業の新たな枠組みとして提案されたファブラボについて検討がなされた。

【今後予想される事業効果】

展示会を実施したことで得られた「市場を意識したものづくり（ニーズや事業採算性など）」の醸成へとつながり、新たな視点からのものづくりを志向する糧となることが予想される。

また、産学官に民を入れた新たな枠組みでの地域連携ものづくりが提案され、クリエイティブな能力を育成しつつ、現存するものづくりとの共生を考えた、地域の特性を考慮した新たな人材育成のためのプログラムの構築が期待される。